

コロナ禍・緊急アンケート！

夜の街で働く親の生活実態調査（岡山市版）

調査概要

目的:新型コロナウイルス感染症の拡大により夜の街に大きな影響が出ていることを受け、夜の街で働く親、および養育者の方、その子どもたちのための支援制度や仕組みづくりへつなげる

対象:岡山市内の夜の街で働く親、ならびに養育者の方

開始日:2020年12月21日(月)

終了日:2021年 1月25日(月) → **延長31日(日)** (51日間)

実施方法:紙媒体のアンケートの配布、WEB版のアンケートの実施 全27問
(URL:<https://jp.surveymonkey.com/r/oyakoshien>)

回答数:**65**件

実施主体:コロナ禍・緊急アンケート夜の街調査実行委員会

調査事務局:特定非営利活動法人岡山NPOセンター

結果概要

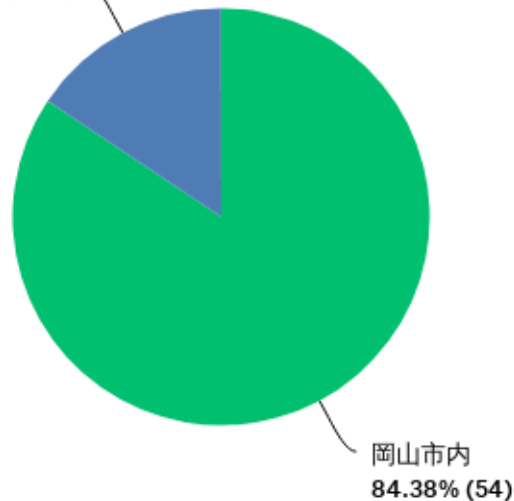
- ・回答者の80%が社交飲食業。接客業と性風俗業がそれぞれ9%。
- ・78%がコロナの影響があったと回答。
- ・コロナ感染拡大前と後で、勤務時間数は平均1.3時間減少。
- ・コロナの影響による困りごと最多は「仕事がなくなったり、少なくなったりして収入が減った」。次いで「支出が増えて家計が苦しくなった」
- ・困りごとに対して15名は「頼る相手がいない」
- ・困りごとに対する必要な支援として、多いものから「仕事の相談(ダブルワーク、アルバイト先など)」「住居手配・家賃補助」「食料・生活用品などの支援」と続く。
- ・未就学～小学生世代の子を持つ親から「子どもの学習支援・体験支援」を求める声が多。未就学児を持つ親からは「託児・一時預かり」を求める声が多。
- ・「次の仕事を探したい」「資格を取りたい」意向は全体の84.38%。
- ・7名(11%)が「恋人や夫から、暴言や暴力を振るわれることは」とあると回答。

Q1: お住まいの地域

回答数: 64 スキップ数: 1

岡山市以外 ※可能であれば市町村などをご記入ください。

15.63% (10)



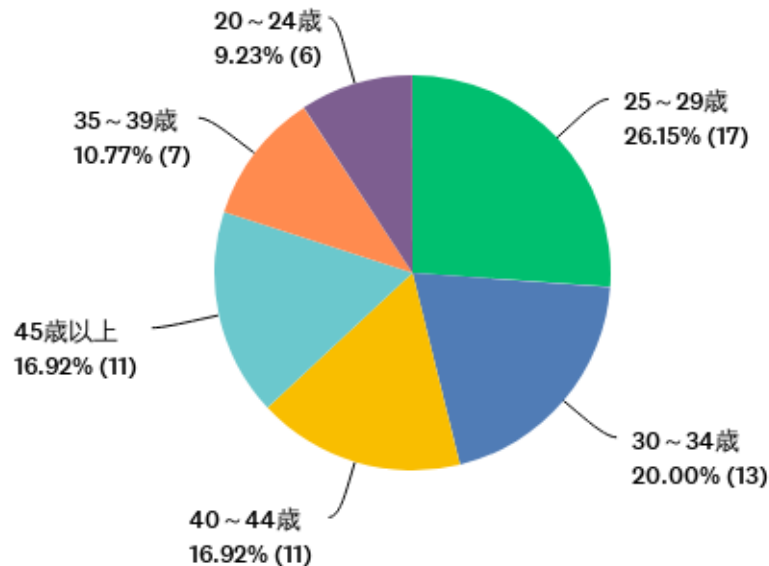
<岡山市以外の居住地>

(岡山県内)倉敷市6名、総社市・瀬戸内市・赤磐市各1名

(岡山県外)広島県福山市1名

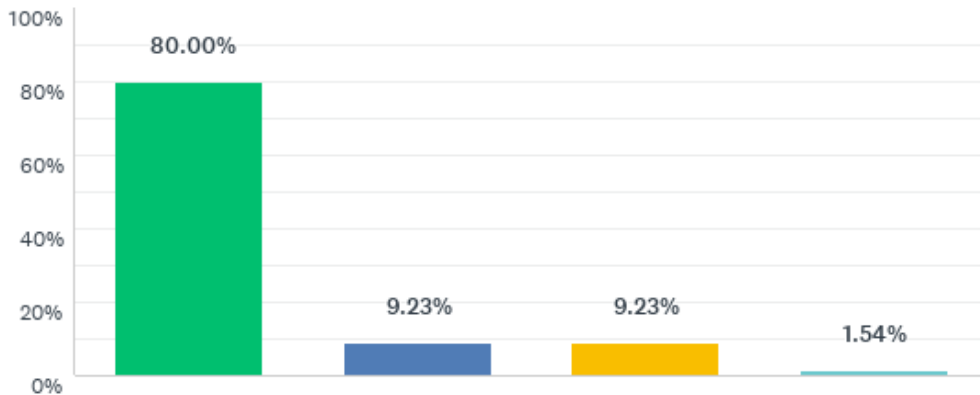
Q2: 年 齢

回答数: 65 スキップ数: 0



Q3: 職種 ※複数選択可

回答数: 65 スキップ数: 0

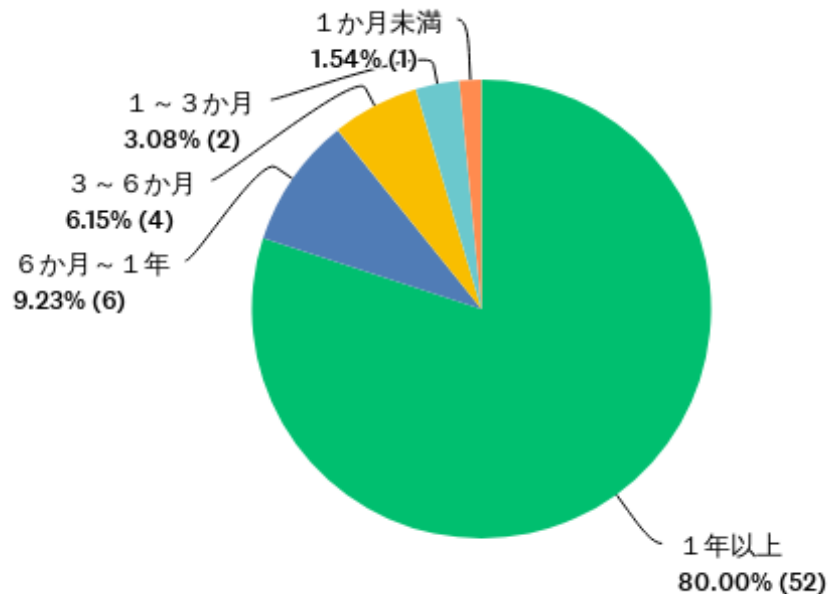


- 社交飲食業(キャバクラ・ラウンジ・スナック・クラブなど)
- 接客業(ガールズバー・バー・居酒屋など接待を伴わない飲食業)
- 性風俗業(デリヘル・ソープ・マッサージなど)
- その他

<その他の内容>
・福祉

Q6: 今のお店で働いている期間

回答数: 65 スキップ数: 0



Q4. コロナ感染拡大以前の出勤時間帯

Q5. コロナ感染拡大以後の出勤時間帯

Q4.回答数: 64 スキップ数: 1 / Q5.回答数: 62 スキップ数: 3

- 各設問にて出勤時間と退勤時間を尋ね、勤務時間数を算出

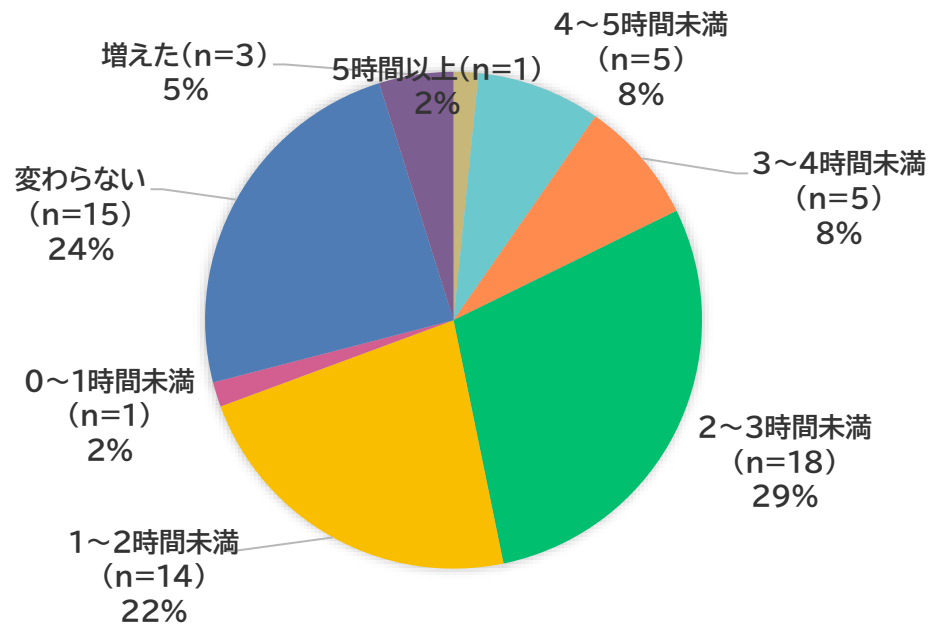
コロナ感染拡大以前の勤務時間数	
平均	6.3時間

コロナ感染拡大以後の勤務時間数	
平均	5時間

- コロナ感染拡大以前の勤務時間数と感染拡大後で、勤務時間数に変化はあったか

<勤務時間数の減少>

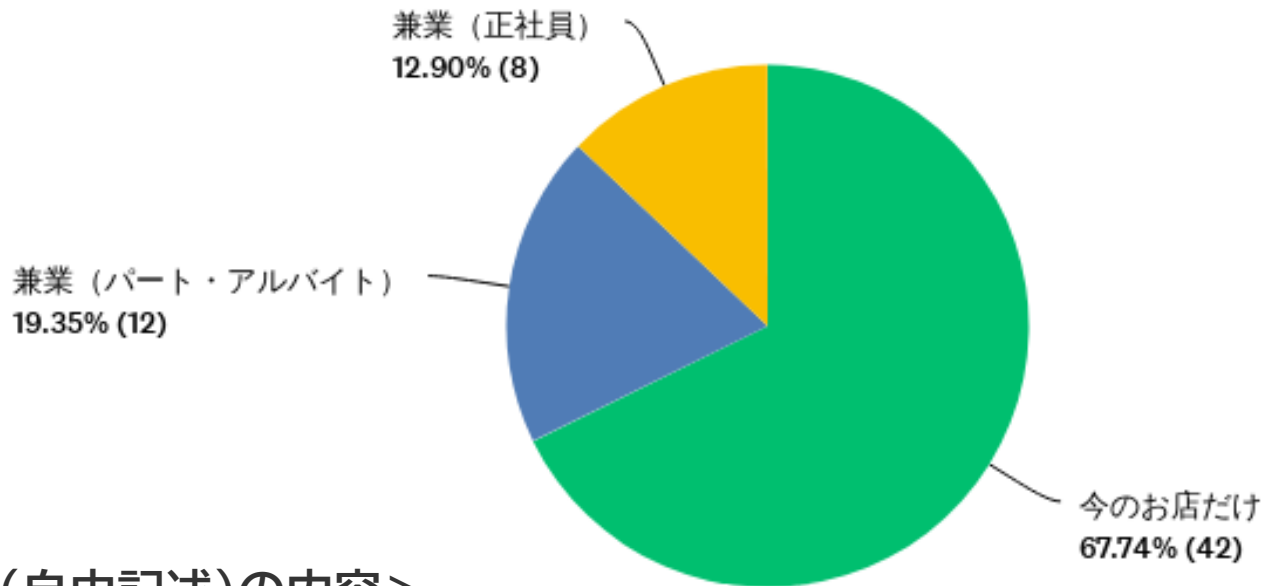
5時間以上	4～5時間未満	3～4時間未満	2～3時間未満	1～2時間未満	0～1時間未満	変わらない	増えた
1	5	5	18	14	1	15	3



<変化なし> <増加>

Q7: 現在の働き方

回答数: 62 スキップ数: 3



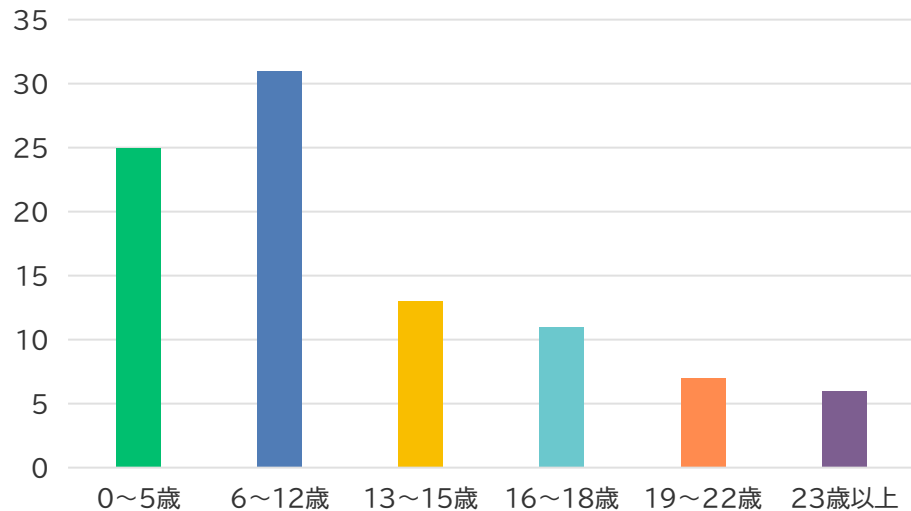
<その他(自由記述)の内容>

・経営者 ・昼職も自営 ・コンパニオン ・身内からの支援 ・自営業(美容関係)

Q9. お子様のそれぞれの年齢

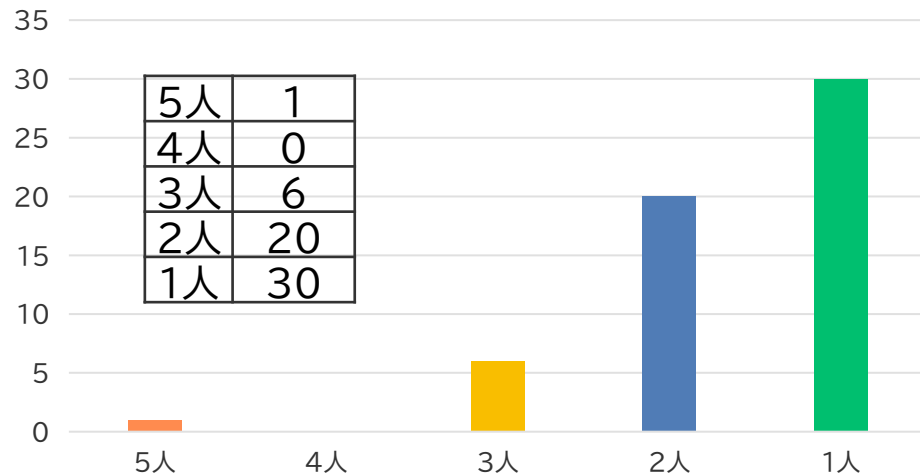
回答数: 57 スキップ数: 8

子どもの年齢



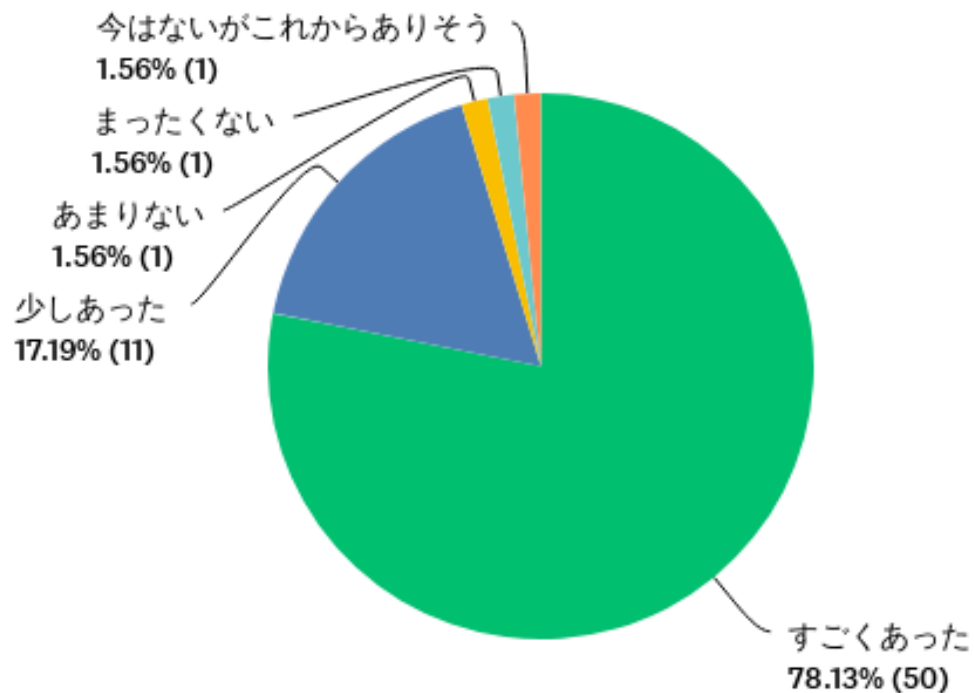
	6~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23歳以上	
0~5歳	31	13	11	7	6	
人数	25	31	13	11	7	6

子どもの人数



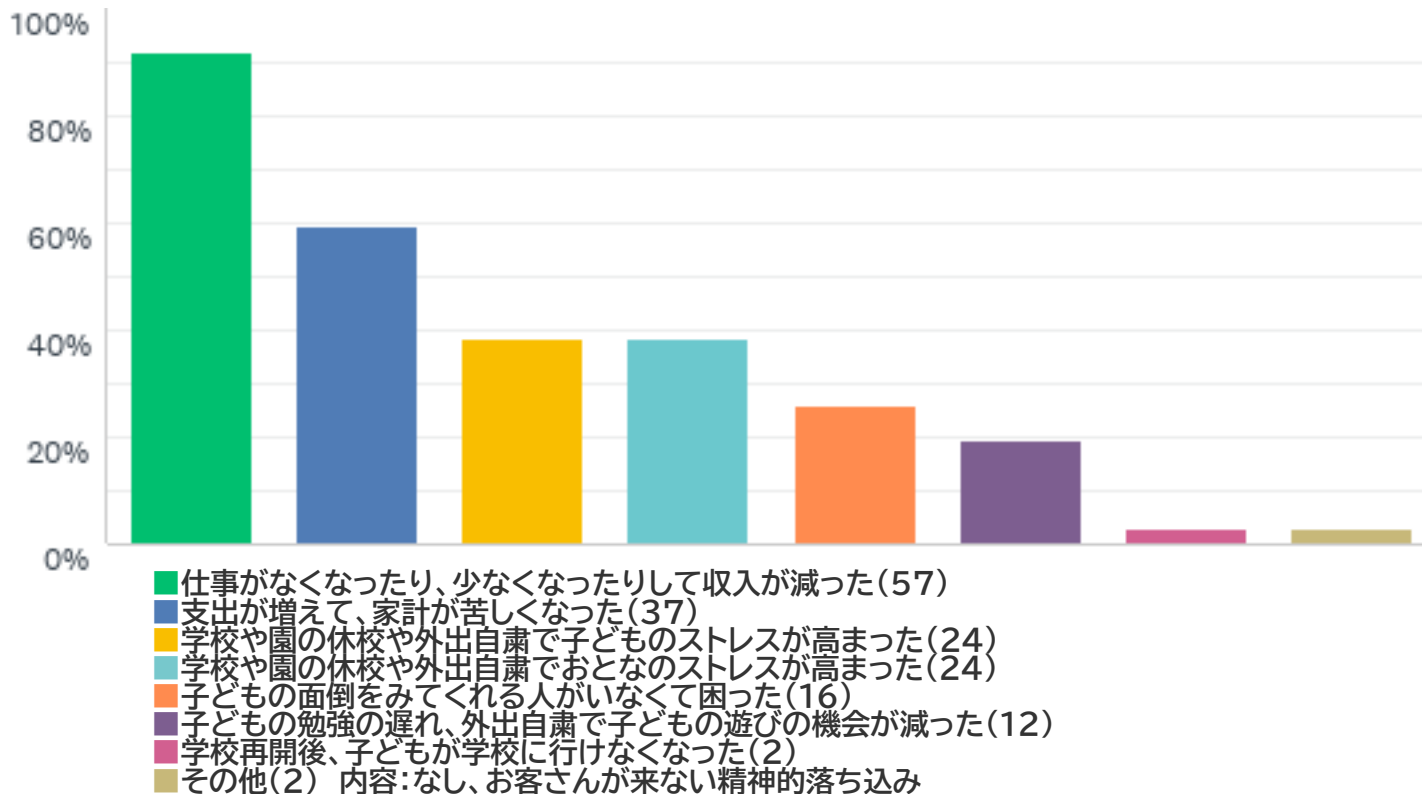
Q10: コロナの影響(困りごとや不安に思うこと)

回答数: 64 スキップ数: 1



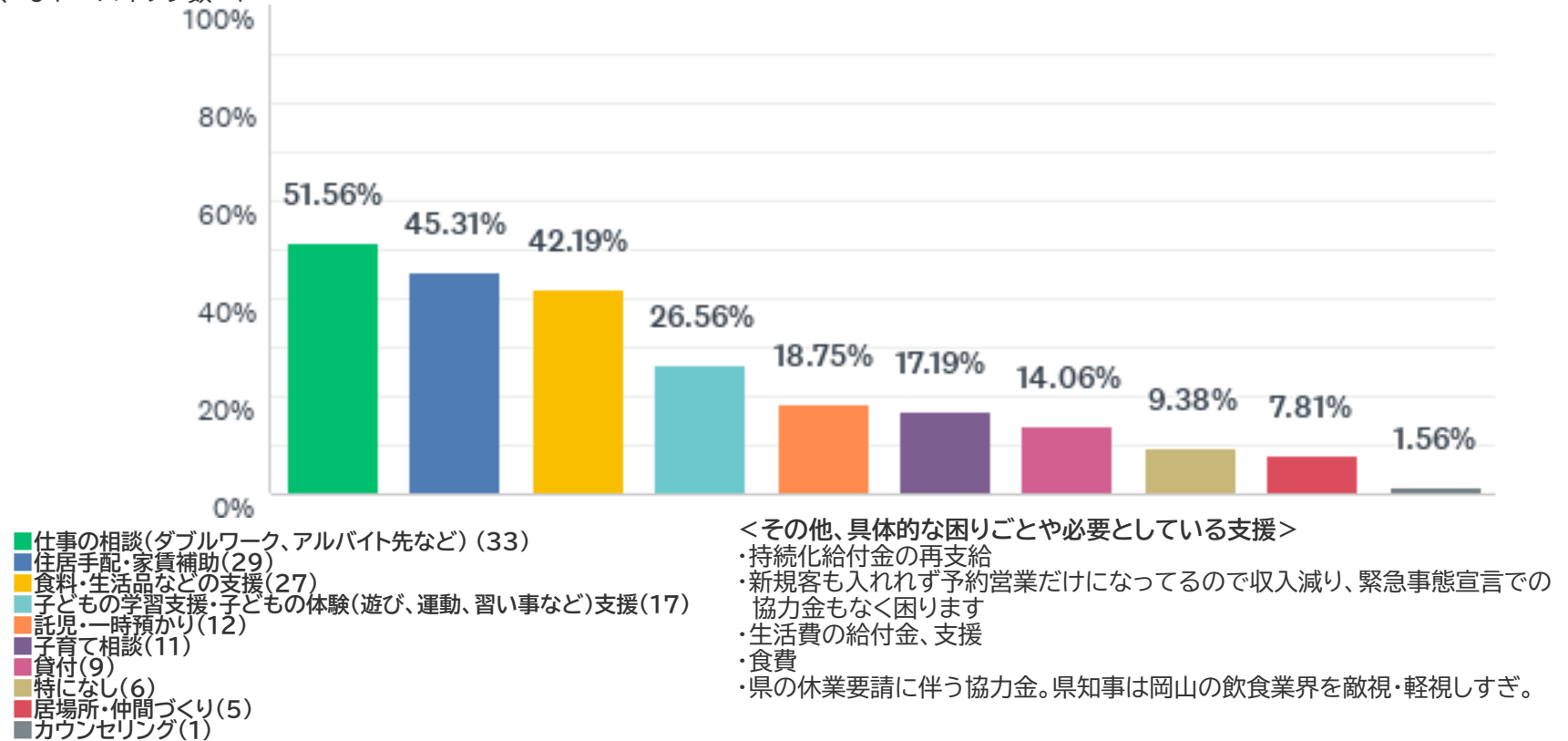
Q11: コロナの影響(困りごと)の内容 ※複数選択可

回答数: 62 スキップ数: 3



Q12: 現在の困りごとに対して必要な支援 ※複数選択可 (困りごとのない方は「特になし」を選択してください)

回答数: 64 スキップ数: 1



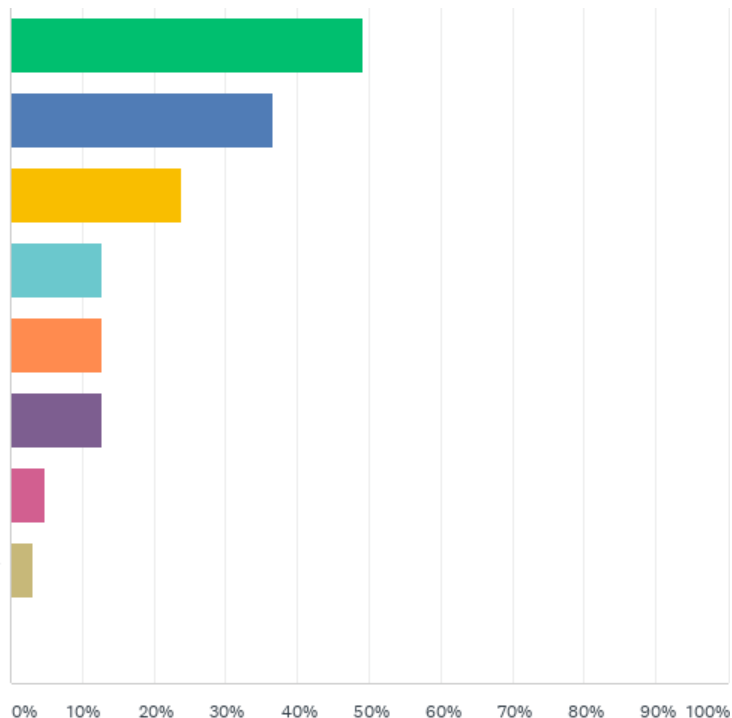
Q13: 困りごとに対して頼れる相手は ※複数選択可

回答数: 63 スキップ数: 2

- 親・親戚 (同居、近居) (31)
- 知人・友人・同僚 (23)
- 頼れる相手はいない (15)
- 親・親戚 (遠方) (8)
- 勤め先 (8)
- 学校・保育園・幼稚園 (8)
- 行政機関 (3)
- その他 (2)
- NPOなどの市民団体 (0)

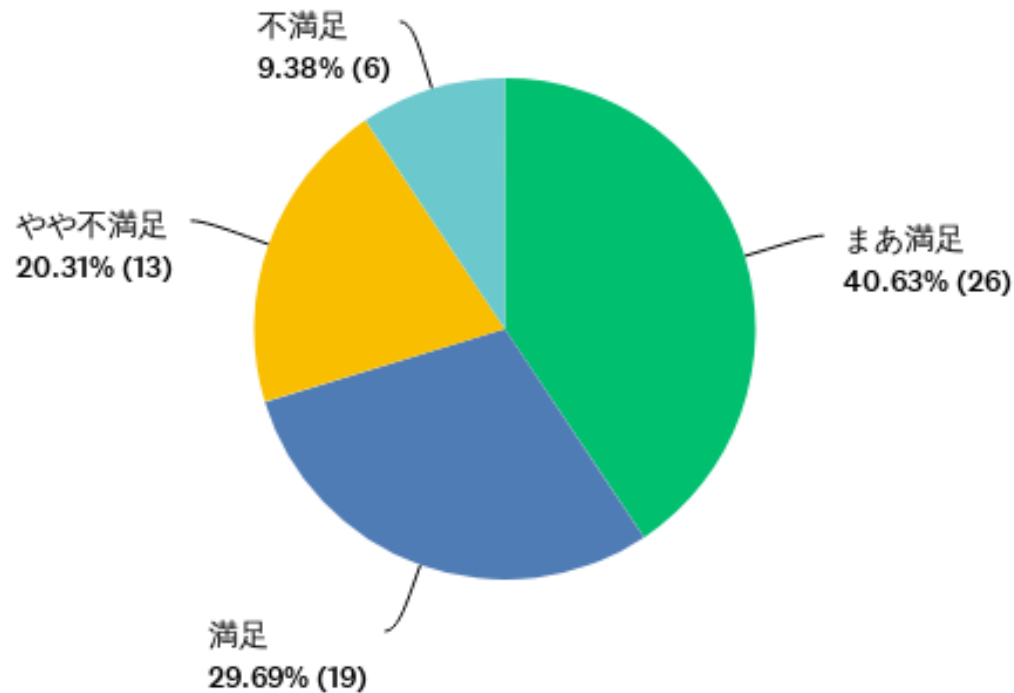
<その他の内容>

- ・周りのみんなも困っているのに相談できない。親も同様です。国や行政機関、県や市町村はまったく頼りにならないし、行動がおそいし不十分すぎてあきれ。飲食店や接客業をコロナ感染に対象としすぎ。
- ・なし



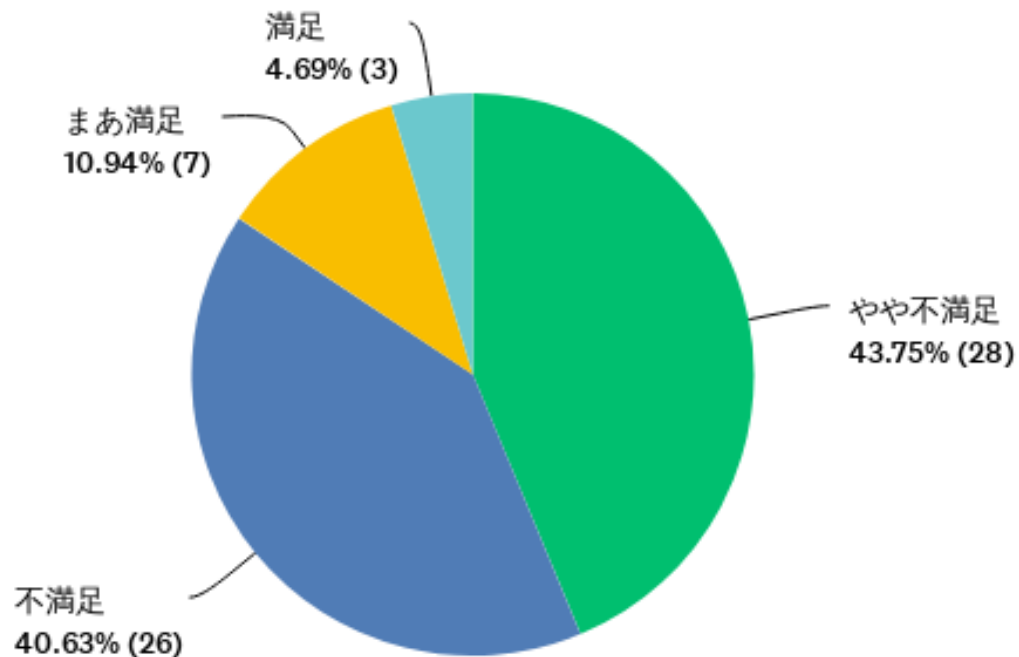
Q14: 今の住まい(自宅、実家、寮)に満足しているか

回答数: 64 スキップ数: 1



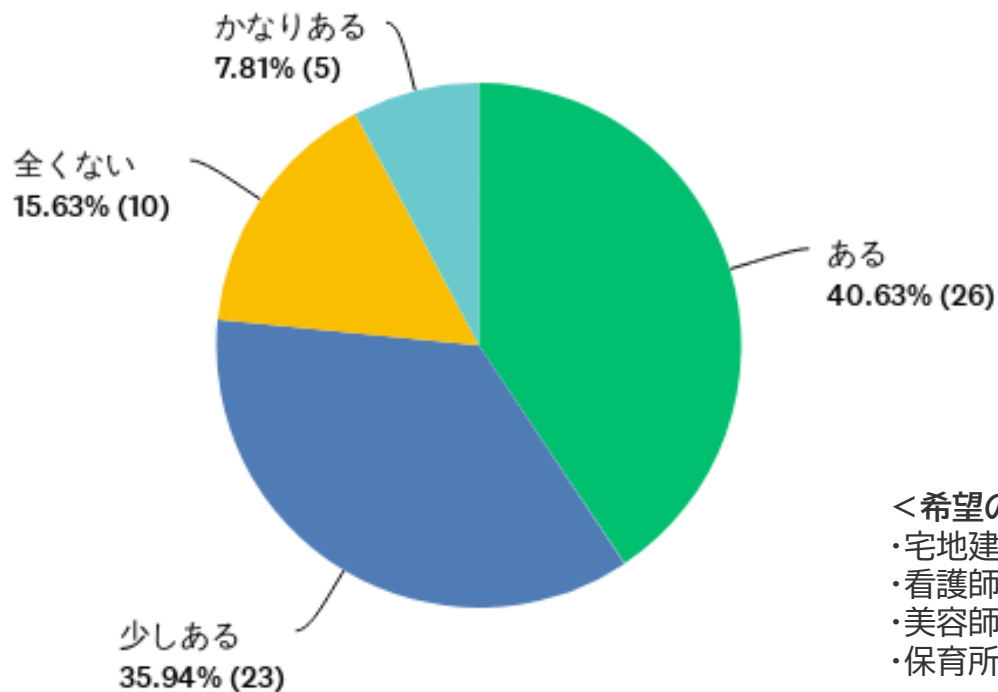
Q15: 今の収入に満足しているか

回答数: 64 スキップ数: 1



Q16: 「次の仕事を探したい」「資格を取りたい」と思ったことは

回答数: 64 スキップ数: 1

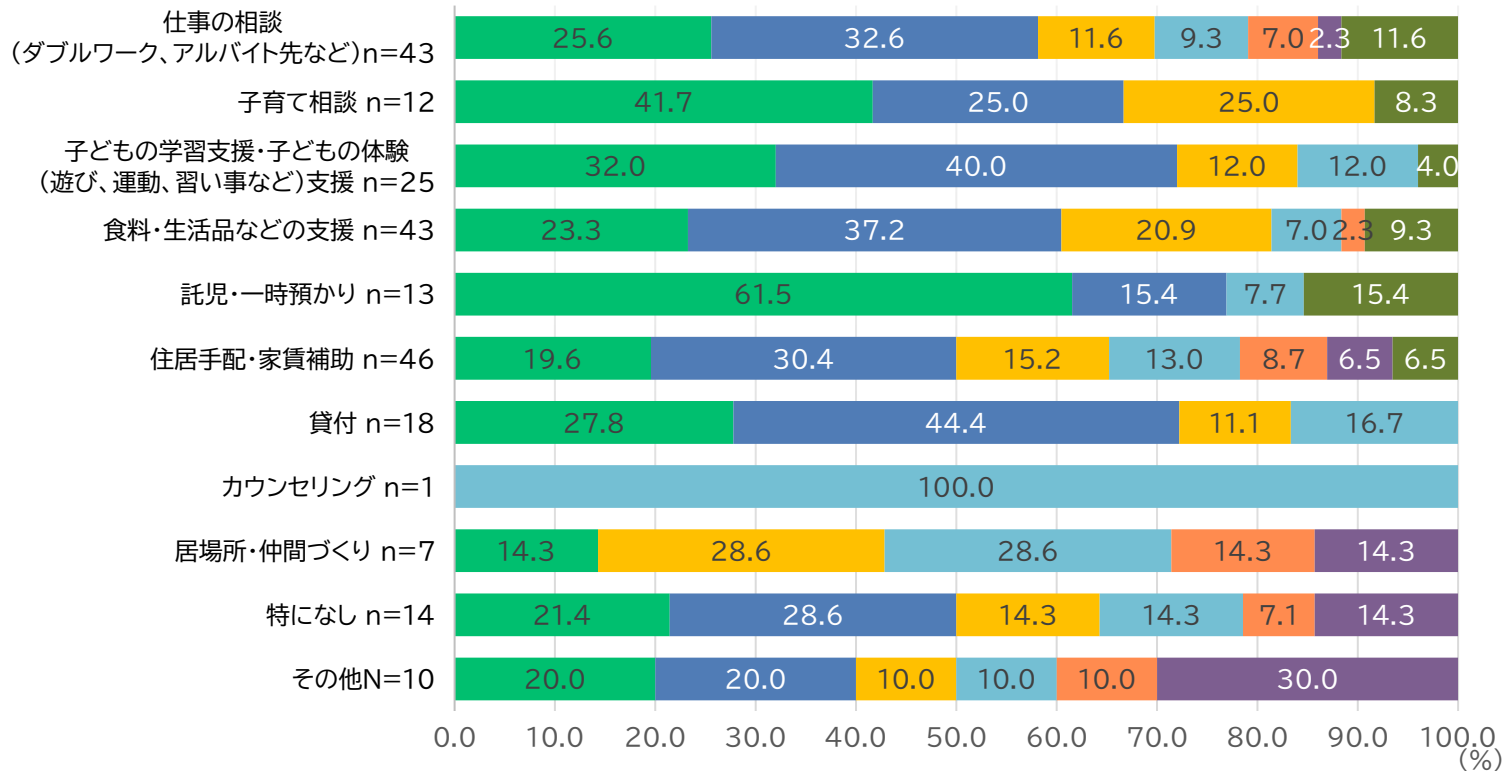


<希望の仕事・資格(自由記述)>

- ・宅地建物取引士…3
- ・看護師…2
- ・美容師…1
- ・保育所経営…1

現在の困りごとに対して必要な支援(子どもの年代別) n=232

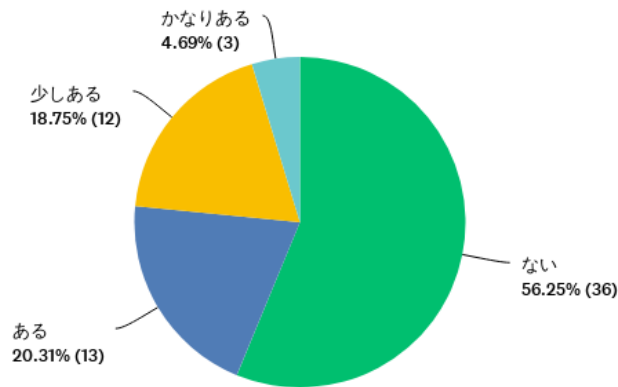
■ 1 未就学・0～5歳 ■ 2 小学生・6～12歳 ■ 3中学生・13～15歳 ■ 4 高校生・16～18歳 ■ 5 大学生・19～22歳 ■ 6 社会人・23歳以上 ■ 無回答



子どもの年齢	その他の記述内容
小3、3歳	生活費の給付金、支援
小1、5歳	食費
高一、中二、小二	県の休業要請に伴う協力金。県知事は岡山の飲食業界を敵視・軽視しすぎ。
28歳、20歳	持続化給付金の再支給
25歳、28歳	新規客も入れれず予約営業だけになってるので収入減り、緊急事態宣言での協力金もなく困ります

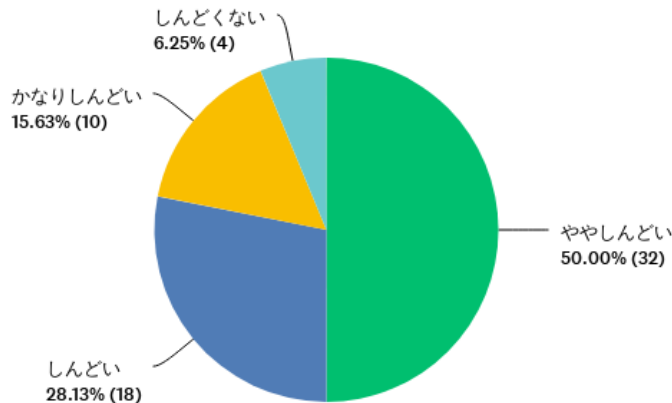
Q17: 借金(カード、消費者金融、銀行等)は

回答数: 64 スキップ数: 1



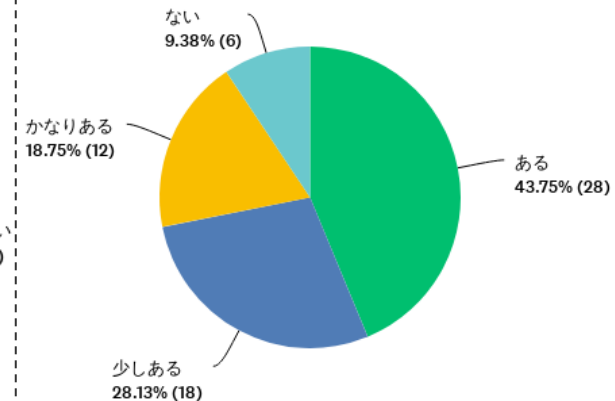
Q18: 毎月の支払(生活費、家賃、携帯代、食費、光熱費、ローン返済、学費・奨学金等)は

回答数: 64 スキップ数: 1



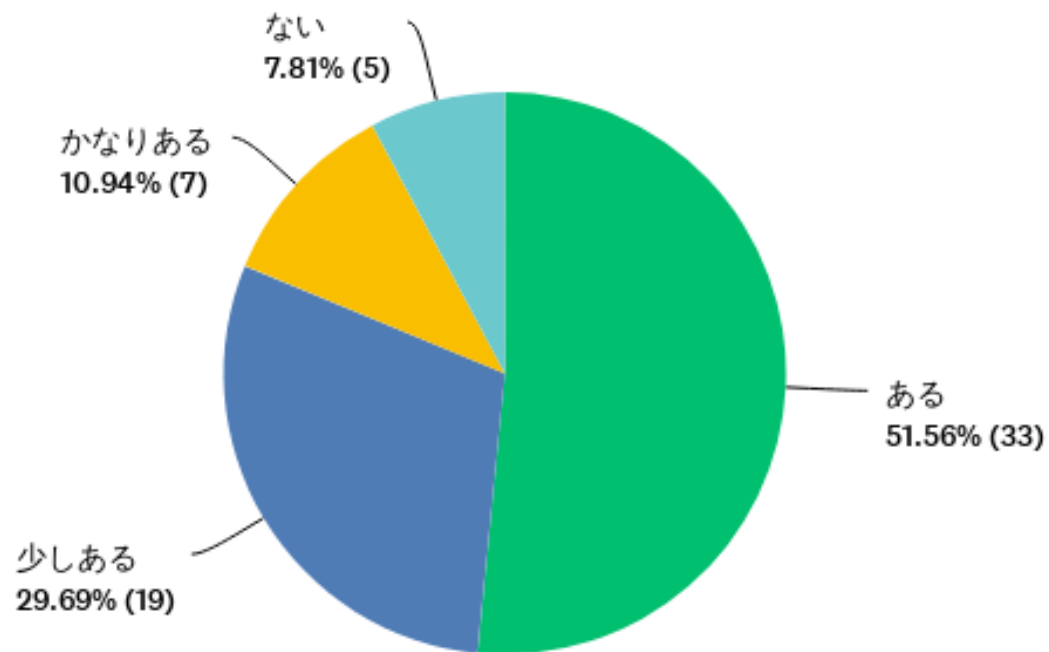
Q19: 税金(確定申告、住民税の支払い、マイナンバー等)や年金に関する不安は

回答数: 64 スキップ数: 1



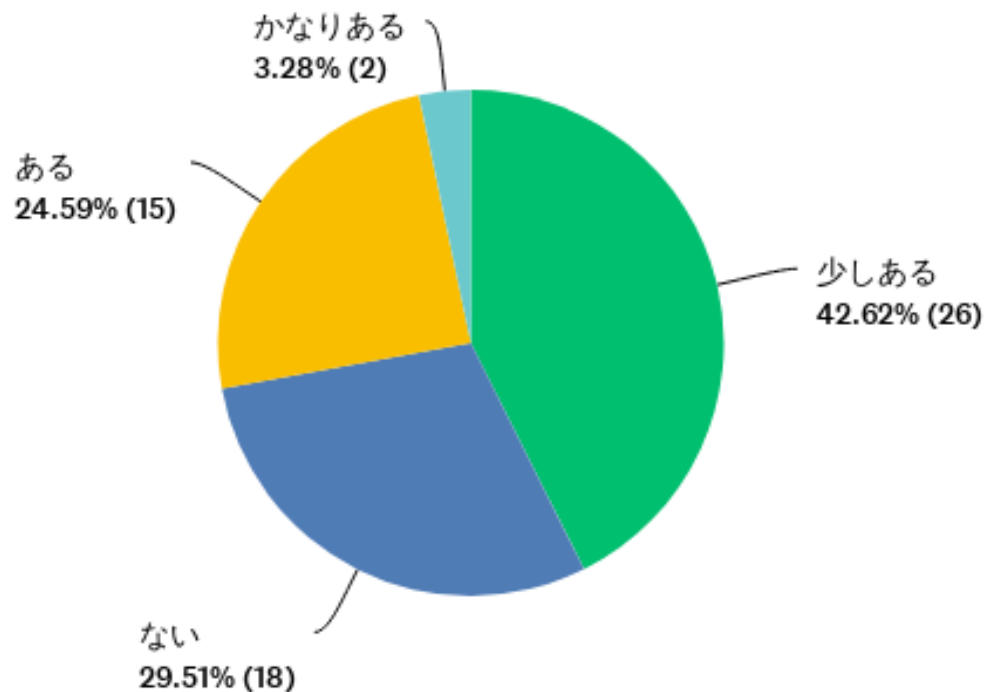
Q20: ストレス解消のために食べ過ぎ・飲み過ぎてしまうことは

回答数: 64 スキップ数: 1



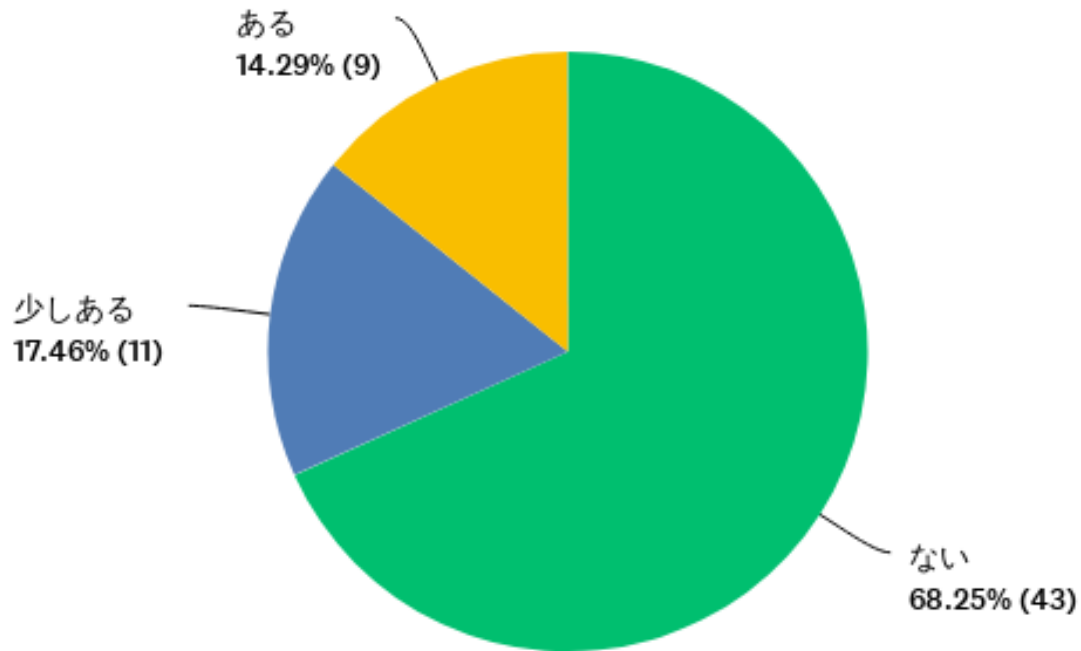
Q21: 家族の介護や看病、育児で「辛い」と思ったことは

回答数: 61 スキップ数: 4



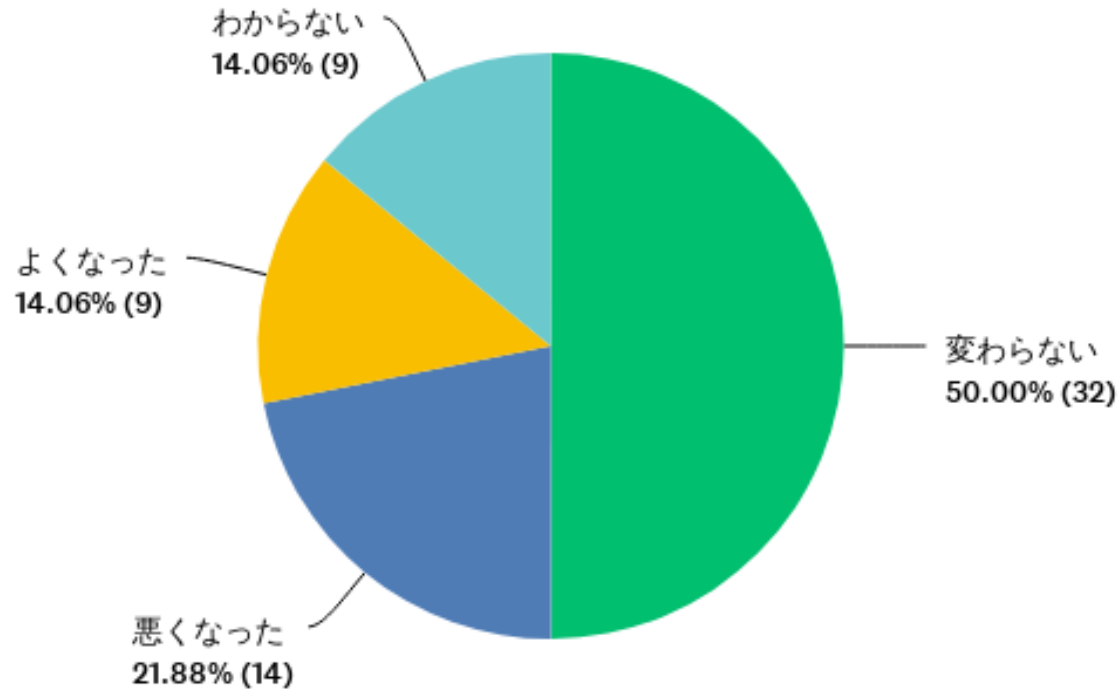
Q22: 服用している薬(精神安定剤、睡眠薬など)

回答数: 63 スキップ数: 2



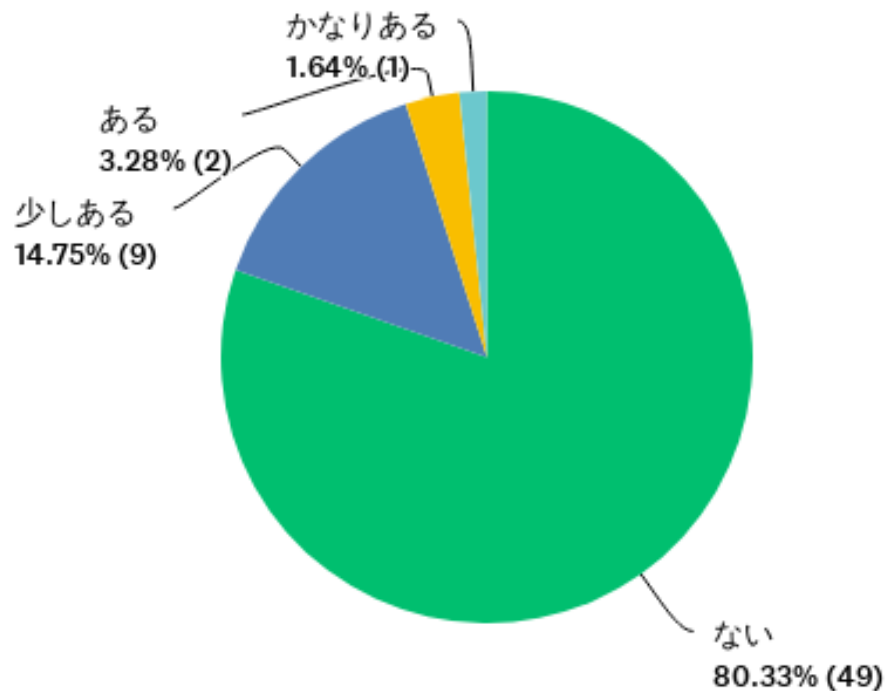
Q23: コロナ禍で家族(夫、両親、きょうだい、子ども)とのコミュニケーションに変化は

回答数: 64 スキップ数: 1



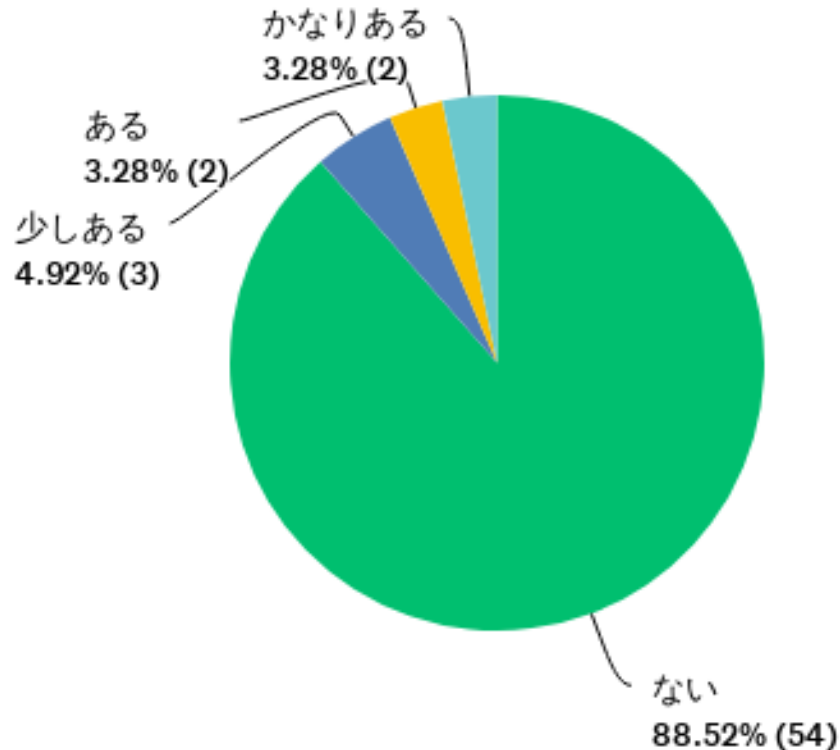
Q24: 恋人や夫から束縛される(お金を自由に 使わせてもらえない、携帯をチェックされる)ことは

回答数: 61 スキップ数: 4



Q25: 恋人や夫から、暴言や暴力を振る われることは

回答数: 61 スキップ数: 4



Q26. 現在、気になっていること、モヤモヤしていること、困っていること、 コロナに向けて一言！

回答数: 32 スキップ数: 33

夜のバイトが1月は店自体休みだったのですが、

2月から再開するとのことで、仕事に入れるのはありがたいがコロナが怖い。

子供や両親もいるので、家族も嫌がるが、

家計の足しに少しでもなると助かるので、その狭間で不安。

-
- ・シンプルにお金が足りん！
 - ・バイトの出勤日数返してくれ
 - ・この状況が続くとやっていけません！

- ・体調をこわしたときなど大変です。
 - ・海外旅行に行きたい。
- コロナなんて可愛い名前のくせにやる事エグいわ！！

Q26. 現在、気になっていること、モヤモヤしていること、困っていること、 コロナに向けて一言！

回答数: 32 スキップ数: 33

一番困っていることはやはりお金のことだと思います。

一人親だとやっぱりいろんな負担があります。どうしても一馬力なんで…。

夜の仕事を選んでいる理由は、やはり給料が良いから。

子供を育てるために私たちはいっしょうけんめいです。コロナ早くおさまれー！と毎日おもっています。

少しでも国がいろいろ考えてくれるとうれしいです…

・仕事への不安、雇用の事など！家族とのコミュニケーションで
どのように接していいかわからなくなった。

・もっと支援していただきたい

・食べ盛りで食品、食材、があつという間になくなる

・県や市からの給付金があれば良いと思います

・ひとり親給付金を2回支給して頂きましたがやはりそれだけではどうにもなりません。夜の仕事を兼業してもかなりきつい状態
です

Q26. 現在、気になっていること、モヤモヤしていること、困っていること、 コロナに向けて一言！

回答数: 32 スキップ数: 33

ほんとに早く落ち着いて欲しいです！

(中略)経済回すためとかいって、いざ、感染者が多くなったら国がまた緊急事態宣言を数県でしたところで遅すぎの判断だと思います！

国から補助もしてもらえない。コロナ以前に生活できなくて死んでしまいます。

本当に政治家たちの判断は矛盾ばかりで長々と続くコロナのニュース見ても不快な気持ちでしかありません。

・早く終わってほしい

・早くコロナが落ちついてほしいです。

・早く落ち着いて欲しい。

・1日でも早くコロナが落ちついてくれますように！！コロナのせいで仕事
できません🙏

・早く収束してほしい

・早く終わって欲しい

・早くなくなって欲しい

・コロナのせいで出勤日数が減って支払
いがしんどいので早く通常通りになっ
てほしい

・早く終息してほしい

・早くコロナなくなれ！

・収入が減って不安。早く元の生活に
戻ってほしい

・本当に世界中を騒がせるコロナ！早く
消えてほしいです(>

・とりあえず早く少しでもおさまって、
飲みに出てきて欲しい🙏

Q27. さらに詳しいヒアリング調査にご協力くださる方や、緊急支援、支援情報を必要とされる方は以下に連絡先のご記入をお願いします。(任意記入)

9名の方にご連絡先を教えてくださいました。
今後、個別のヒアリングを調整させていただきます。

今後の取り組み <求められている支援>

1. 長期的な資金計画と仕事の相談(ダブルワーク、アルバイト先など)

- ・ファイナンシャルプランナーによる、長期的な人生計画に基づくお金のアドバイス
- ・自分の理想の将来像が思い描けるように
- ・借金はなく、子どもが小さいという回答が多い。生活の立て直しに間に合う支援を
- ・本人の苦手な部分を助けるような支援を行う

2. 住居手配・家賃補助等の住まいの確保

- ・子どもと入ることのできる「生活保護を受けるには至らないが収入が減っている人」を対象とした住まいの提供

3. DV被害者支援・シェルター機能の整備

- ・今回のアンケート結果において、7名(61名中・11%)がDV被害を受けている方がいる
- ・岡山市内には現在、民間のシェルターが足りていないのではないかと。
- ・運営する側に様々な力が求められる。加害者側の男性と相対する場面もあり簡単なことではない。予め様々な機関と連携しておく必要もある
- ・子どもが児童養護施設に入った場合、保護者が一緒に入ることはできない

4. 既存の支援制度の見える化

- ・サンフラワー基金、なんでも相談会などの既存の取り組みが知られていない
- ・「ここへ連絡してね」と電話番号を広報するのみでなく、「ここへ連絡して、シェルターへ入ったあと、どうなるか」の先が見えるようにすることで利用をイメージしやすくする必要がある

➡個別ヒアリングを通じ、支援の実現化に向けて必要な情報のより具体的な聞き取りを行う。

本調査へのご協力誠にありがとうございました。

【コロナ禍・緊急アンケート】夜の街で働く親の生活実態調査(岡山市版)
(2020年度・子どもの未来のための協働促進助成事業)

<実施主体>

コロナ禍・緊急アンケート夜の街調査実行委員会
調査事務局:特定非営利活動法人岡山NPOセンター

<本調査に関するお問い合わせ先>

専用電話番号:080-3898-8106

専用メールアドレス:shien.to.chousa.okym@gmail.com

担当者:井上(特定非営利活動法人 岡山NPOセンター／外部フェロー)
